

教育長定例記者会見 会見録

日時：令和5年1月11日（水） 11時00分～

場所：教育委員室

発表項目

- ・ 県立上野高等学校「明治校舎（旧三重県第三中学校校舎）」の耐震改修工事完成に伴い記念式典および一般公開を行います
- ・ みえ探究フォーラム2022を開催します
- ・ カンボジア王国 教育・青少年・スポーツ省が思考力育成教材「Think!Think!」モデル校を視察します

質疑事項

- ・ 新型コロナウイルスの「第8波」への対応について
- ・ 令和4年度三重県一般会計補正予算（第9号）（教育委員会関係）について

発表項目

- 県立上野高等学校「明治校舎（旧三重県第三中学校校舎）」の耐震改修工事完成に伴い記念式典および一般公開を行いますについて

県立上野高等学校の明治校舎、旧三重県第三中学校の校舎なのですが、この耐震改修工事を完成して、それに伴って記念式典と一般公開を行うというものです。県立上野高校ですが、明治校舎旧三重県第三中学校校舎というのが現存しまして、耐震改修工事が昨年12月28日に完成をいたしました。この明治校舎は明治33年、1900年に建築されました明治時代の学校建築様式を今に伝える重要な建物で、平成元年3月に三重県の指定有形文化財に指定されております。その記念式典ですが、上野高等学校の明治校舎の中のHAQUAホールというのがあります。そこを会場に1月20日に16時から行います。明治校舎の工事概要、貴重な文化財としての価値の説明等、それからギター・マンドリン部の生徒による演奏などを行います。翌日ですが、一般公開として令和5年1月21日、10時から16時までで、事前申込は不要としております。工事概要や文化財的価値について、現在予定しているのは5回ですが、10分程度の説明会を開催いたします。ご覧いただく方は、10時から16時の間に、明治校舎内をご自由に随時ご覧いただくということにしております。説明会は5回ですが、参加希望される方が多い場合は、また別途説明会を設けさせていただこうと思っております。この上野高校には駐車することができませんので、自家用車でお越しの際は、近隣の有料駐車場になりますけれども、利用いただきたいと思っております。今後のコロナ感染拡大の状況によっては、中止させていただくこともあるわけですが、その場合は1月20日の17時までに上野高校のホームページに掲載

いたします。

工事の概要ですけれども、対象としては明治校舎と正門です。文化財的価値ですけれども、今申しあげましたように、明治33年7月に完成いたしました木造平屋建ての校舎です。この設計は、国の重要文化財となっております旧三重県の庁舎、これは現在犬山市の明治村に備蓄されている二階建ての木造建築ですけれども、これを設計した清水義八さんが設計をされております。建物の特徴ですけれども、別添資料に写真をつけさせていただきましたが、まず洋風の玄関ポーチと両翼の全面に和風の入母屋屋根がひかれて、正面と両方脇の教室は、洋風の上げ下げ窓になっているのに対して、背面や廊下は和風の引違い窓が用いられるなど、和洋折衷の外観となっております。構造は漆喰塗りの土壁で構成される和風の作りですけれども、屋根を支える小屋組みは洋風のトラス構造を基本として、両翼部の接合部分は和小屋組としております。この明治校舎は明治時代に県内に建設された4校の中学校のうち唯一残っている建物であります。この旧三重県第三中学校、現上野高校はそうなのですが、三重県内の第一中学校は現在の津高等学校で、明治13年に津尋常中学校として創設されて、第二中学校は現在の四日市高校、第四中学校が宇治山田高校なのですけれども、この現在の津高校、四日市高校、上野高校、宇治山田高校合わせて、4校に中学校の校舎として建設されたわけですけれども、現在唯一残っている建物でありますので、こうした建物が三重県内では現存するというのももちろん他にはないのですけれども、全国的にも非常に珍しいという状況です。工事費としては4億1900万余りです。工期は令和3年11月から昨年12月28日までです。改修内容は耐震改修を行っておりますけれども、文化財的価値を維持できる工事内容としております。改修後の活用ですけれども、この明治校舎内には無線LAN環境を新たに構築して、一部教室にはグループ等での話し合いにも活用できる移動式の机等を整備し、授業でディスカッションする学習活動とか、いろんな探究学習などで活用したいと考えております。放課後は文化部の活動とか、生徒会の活動のほか、学校主催の行事等で県民の方、市民の方と交流する場合などにも活用したいと考えております。別添資料として写真、地図をつけさせてもらっており、左上の上野高校が斜線で引いてありまして、その後ろが上野公園で、伊賀上野城があるという環境で、その下のところの学校の真ん中に明治校舎が存在するというので、あと正面全景とかHAQUAホールとか廊下は改修後の状況であります。

○ みえ探究フォーラム2022を開催しますについて

みえ探究フォーラム2022を開催するというものです。県教育委員会では小学生から高校生までの校種を越えた科学好きの輪を広げて、科学に対する興味・関心をさらに高めることを目的に、みえ探究フォーラム2022を開催いたします。このフォーラムでは高校生による小学生向けの科学体験講座、それから高校生、中学生による課題研究等の発表を実施いたします。期日は2月12日の日曜日であります。場所は鈴鹿医療科学大学の千代崎キャンパスをお借りして実施いたします。内容として、高校生による小学生向け科学体験講座は、県立

高校、資料記載の7校の高校生による、それぞれの高校生が考えてくれた科学体験講座を実施いたします。参加には事前申込が必要であります。対象は小学生で3年生以下の児童の方は保護者の付添いが必要です。募集受付は1月16日9時から、1月30日9時までで、各講座の定員は5名としております。応募者多数の場合は抽選させていただきます。この小学生向け科学体験講座は平成29年度にスタートして、令和2年度と昨年度、令和3年度はコロナで実施できずに、今年度が3年ぶりの開催となります。

2点目が高校生、中学生による課題探究等の発表ということで、これは県内の高校生、中学生が自分で設定した課題について、フィールドワークや実験を通じて取り組んだ探究的な活動の研究成果を、口頭発表やポスター発表を行うものであります。その発表それぞれについてテーマ設定とか考察の内容など、5つの観点で審査委員や参加生徒が評価を行い、観点別に最も優れた発表に最優秀賞、その中から最も評価が高かった発表には教育長賞が授与されます。発表の質疑応答もあるので、その中ですばらしい質問やアイデアを出した参加生徒の方にグッドパフォーマンス賞が授与されます。発表者、発表本数などの詳細は2月初めに決定する予定です。高校生、中学生で見学を希望される方は所属の学校を通して申込みを行っていただきます。一般の方は、受け付けを今回しておりません。このフォーラムでの、教育長賞それから最優秀賞受賞作品は3月下旬に、三重県のWebページで公開いたします。

○ カンボジア王国 教育・青少年・スポーツ省が思考力育成教材「Think!Think!」モデル校を視察しますについて

カンボジア王国の教育・青少年・スポーツ省の方が、思考力育成教材「Think!Think!」というのがあるのですけれども、そのモデル校を視察するというものです。このカンボジア王国の小学校での思考力育成教材「Think!Think!」での活用の参考とされるために、松阪市立の小学校を訪問されるというもので、期日は1月18日です。訪問校は松阪市立柿野小学校と同じく朝見小学校です。訪問される方は、カンボジア王国の教育・青少年・スポーツ省の参事官、あるいは科学研究所・局長など5名の方と、ワンダーファイ株式会社2名の方です。午前中に柿野小学校3年生、午後に朝見小学校2年生の授業を見ていただいて、そのあと松阪市教育委員会内で意見交換を行います。思考力育成教材「Think!Think!」ですけれども、これはWeb教材でパズルとか迷路の要素を取り入れて思考力の育成をめざすものです。別添資料にある、画面に示された展開図が直方体サイコロのようなものになるのかどうかを○か×で答えるものがあります。学校では、算数の授業でこうした展開図とか立方体とかの図形の学習を行う際や朝の学習で活用して、児童が楽しみながら空間認識とか、平面図形の基礎を見つけることをしております。このワンダーファイ株式会社さんとは包括協定を結んでおりまして、平成29年9月ですけれども、当時の株式会社花まるラボさんと県教育委員会が包括協定を締結し、この思考力育成教材の無償提供を受けることとしております。今回の訪問は、ワンダーファイ株式会社さんがJICAの中小企業海外展開支援事業とし

での採択を受けられ、カンボジア王国での支援を進められている中で、今回、本県への視察の依頼がワンダーファイ株式会社さんを通じてありました。平成 30 年 11 月に一度、カンボジア王国の方々が訪問されておりますので、今回で 2 回目となります。

発表項目に関する質疑

○ 県立上野高等学校「明治校舎（旧三重県第三中学校校舎）」の耐震改修工事完成に伴い記念式典および一般公開を行いますについて

(質) 教育長から、明治時代に県内に建設されたのが 4 つあって、そのうち残っているのが上野高校だけなのですかということと、こうした建物が残っているのは全国的にも珍しいとお話いただきましたけれども、どういう部分が珍しいのかを教えてくださいませんか。

(答) 明治時代に中学校令が改正されて、全国的に中学校の設置というのが進められたところなのですが、例えば全国で都道府県に 1 つとか 2 つとかということがあったのですが、その時に建てられた校舎そのものが残っていること自体が非常に少ない状況にあります。今回こうした形で耐震工事等、その文化財価値を損なわない形で改修させていただいて、今後、探究学習の授業で活用していくということ自体も、非常に珍しいという意味で申し上げました。

(質) もう 1 点伺いたいのですが、改修が無線 LAN 環境を整えて、上野高校の生徒が基本的に使うということでもいいのですかね。

(答) そうです。

(質) 今までも上野高校の生徒が、改修前も使っていた市民の憩いの場というか、そういう使い方もされていて、今後もそういうふうにするということでもいいのですか。

(答) 今まで耐震上の課題がありましたので、通常の授業ということでは利用できてなかったのですが、一部の部活動であったり、生徒会の話し合い活動であったり、あるいは卒業生の横光利一のコーナーがあったりしたりして、そういうふうなことでの利用ということであったのですが、先ほど申し上げましたように、耐震に課題がございましたので、授業等で、多くの生徒が恒常的に利用するということができなかったのです。今後は探究学習とか、あるいは生徒会活動、それから部活動においても、活用をしていただければと思っております。

(質) ちょっと細かいのですが、特に文化部の活動というのはどういう部活が使うことを想定しているのですか。

(答 高校教育課) ギター・マンドリン部とか演劇部とか、そういう文化部の活動の場となります。

(質) 工事費なのですが、4 億円余りの予算というのは、これは国の補助事業なのか県の事業なのかいかがでしょうか。

(答 学校経理・施設課) 県の事業でございます。

(質) 県単独でこの4億1,000万円使うということですか。

(答 学校経理・施設課) はい。

(質) もう1点、今度の土曜日に一応公開された後、今後の一般公開について情報があればというお話がありましたけれども、耐震補強前は一般公開されていたのかと、今後は要望があればということですが、どれくらいの頻度をイメージされているのでしょうか。

(答 高校教育課) これまでも、問い合わせをいただいて、中を見たいのだけれどもということがあれば、中を見ていただくことができておりました。先ほどありました横光利一の資料室もございましたので、それを見に観光客の方が訪れることがありましたので、それは引き続き行っていくこととなります。

(質) どれぐらいの公開頻度とかのイメージでしょうか。

(答 高校教育課) これまでどおり、いつからいつまでという今回のような公開の形ではないのですけれども、建物に関心があってという方については、平日の時間帯においては、学校の事務室に声をかけていただいて、それから中を見ていただくということになるかと思います。

(答) あとそれ以外に、そういうギター・マンドリンとかピアノの演奏なり発表の場であったり、あるいは同窓会の方が集っていただく場の活用とかも考えられますので、具体的には学校の方において、これから検討していくことになると思います。

(答 学校経理・施設課) 予算の関係なのですけれども、国の補助は入ってないのですけれども、この耐震改修ということでそういう耐震の起債とかそういうのは活用しています。県費なのですけど。

(質) 起債をしているのも県費であると。

(答 学校経理・施設課) そうです。

(質) この建物が県内の4つの昔の中学校のうち1校だけが残っていて、あと全国的にも、つまり旧制中学のこの頃に建てられた建物が残っているのが珍しいということなのですよね。何かこの建物で元々の作りが他と違って頑丈だったのかとか何か特徴があったのでしょうか。

(答) この建物が、とりたてて他と大きく異なったかどうかというところまでは分からないのですけれども、明治村にある旧三重県庁舎を設計した方が設計をされて、当時の中学校としての校舎というのが全国的にもあまりなくて、当時の文部省というのが、国においてそうした構造的な基準というのも示されていたようです。三重県ではその前に第一中学校の現行の校舎が既にあって、そういうのを参考にしながら作られたというのが平成5年にこういう管理計画書というのを三重県としてまとめました。その調査でもそういうことが明らかになっているのですけれども、その中で、上野高校としてもこの校舎をどうするかというのは、結構議論がされていて、その色々な議論の結果、保存管理、活用していこうということで現在に至ったということですが、全国的にはそうした校舎の老朽化とか活用の仕方とか、耐震性もあつたか分かりませんが

も、もうほとんど現存されていない状況です。

(質) 旧制中学の校舎が現存しているのが全国的に珍しいと言っていいわけですかね。

(答) はい。

(質) この校舎にはどういう部屋があるのか、多目的教室があるのかとか、どういう構造なのか教えていただきたい。耐震工事前と後で変わったならどう変わったのかとか変わっていないなら何があるのか。

(答 高校教育課) 部屋の構造としては全然変わっていないのですが、元々、木造校舎の明治の段階で通常教室として使われていた建物です。それが老朽化というか、他にどんどん増築もして行って、現在の高校の教室っていうのは後ろに大きな鉄筋コンクリートの建物があって、そっちで通常の教室をやっている。その代わり、明治校舎の方では、ギター・マンドリン部であったり新聞部であったりとかそういう文化活動の部屋として使っていただいています、部屋の形とか構造そのものは何ら変わっていません。

(答) 教室は大きさの異なる教室がいくつか配置されているという状況で、今お配りしたH A Q U Aホールと書いてある部分は、上の正面全景の1番左のところに位置しておりまして、同じような面積のものが右の端にもあったりして、その間に教室として少し大きさが異なっていますけれどもいくつかあって、その後ろというか廊下があるという、そういった構造になっております。

(質) H A Q U Aホールというのは今回の工事の前から元々あったものなのですか。

(答 高校教育課) そういうふうにその後呼ばれるようになったというだけなのですから、部屋としては元々あったものです。

(質) 結構広めの。

(答 高校教育課) そうです。50名ぐらいが入るようなホールとは名付けてはいますが、教室となっております。

(質) H A Q U Aホールは左側にあって、右側にも何かホールみたいなものがあるのですか。同じぐらいの。

(答 学校経理・施設課) そうです。同じようなものが右側にもございます。

(質) ホールが2つあって、その間に教室がいくつかあると。

(答 学校経理・施設課) そうです。

(答) H A Q U Aホールの後ろ側にも、後ろ側が廊下になっていて、その向こうも教室が、通常大きさが1つと、その半分ぐらいのものが2つあるという状況です。

(質) 今回この改修工事を終えて、記念式典で新しい校舎を見ていただけるということになると思うのですが、市民や県民の方にどういうところを見てもらって、どういう建物に今後なってほしいのか、そういうのがあれば教えてください。

(答) この明治校舎は、本当に上野高校の歴史と伝統を象徴する建物でありますし、この学びそのものが生徒を育てるような存在なのかと思っております。明治33年からここ

に存在して、多くの方が学ばれたというふうに思いますので、現在上野高校で学んでいる生徒も、この貴重な場所で探究学習とか交流の場として活用してもらえんと思しますので、市民・県民の方に、OBの方も見えるかも分かりませんが、そうした貴重な建物があるということで、この時期に見ていただければと思っております。

(質) 文化部の活動と、それ以外で何か現在使っていることってありますか。

(答) 生徒会の活動を行っています。

(質) 生徒会室があるのですかね。

(答 高校教育課) そうです。生徒会の役員の部屋があつて、そこで生徒会の役員が活動しています。

(質) 他はどうですか。

(答 学校経理・施設課) 相談室があります。

(答 高校教育課) 教育相談室という部屋もありまして、生徒の相談に使っています。

(質) 教育相談でも使っている。他はどうですかね。ホールがあるのですよね、ホールで何していますか。

(答 高校教育課) ホールは、先ほど申し上げた部活動の練習の場になっています。

(質) そうすると、全生徒がこの校舎に関わってという感じじゃないわけですね。例えば、みんなが集まるとか交流できるというと、今の現状だと一部なんじゃないかなと思うのですけど。これから別の使い方を企画したりということはないですか。

(答) 先ほど申し上げた探究学習というものを、今も始めていますけれども、かなり盛んにしております。LAN回線を整備させていただいて、移動が自由にできる机や椅子を整備して、そこで探究学習であったり交流の場であったりという形で、今後は新たにそういう形で使ってまいります。

(質) もうちょっと具体的に、探究とか交流とかを具体的に言うとしたら、何をやるんですかね。

(答 高校教育課) 探究の時間というのがありまして、生徒がそれぞれのテーマを持ち寄って、グループごとに意見交換したり研究していったりするわけですが、それを小グループとかに分けながら教室を分けて活動しますので、その活動場所の一つとして、今まで活用していませんでしたけれど、この明治校舎を活用していくことになります。

(質) 交流は。

(答 高校教育課) 交流に関しては、生徒会の役員を中心に使ったり、例えばギター・マンドリンなどの部活動の発表の場面で、地域の方をお招きして発表したりとかという交流が進められます。

(答) 活用じゃないのですけれど、明治校舎の改修にあたっては耐震化ということもありますが、瓦なんです。昔の建物ですので土を乗せて、その上に瓦があるのですけれど、土はやめて、直接瓦を設置するという工法に変えたのですけれど、その瓦に在校生が一人ひとりメッセージを書くという形で、より参加とか愛着が持てるような工夫もしながら

ら進めさせていただいています。

(質) とりあえず、その耐震不足というのはいつわかってきたことだったのですかね。

(答 学校経理・施設課) 平成 25 年度に耐震診断をしております。

(質) 耐震不足、強度不足が判明したら、校舎とか体育館とか順次耐震補強してきたと思うのですが、これで県立学校としての耐震補強の状況というのは、上野高校の完成によって進捗はどんなものですか。

(答) 今までずっと県立学校の耐震は完了していますというのを申し上げています。それについては、全国でもそうなのですけれど、鉄筋コンクリート造りあるいは鉄骨造りの校舎、体育館について、これは平成 25 年度に耐震改修工事が完了しているということになります。

(答 学校経理・施設課) 200 平米を超えるものです。

(質) 結局、この建物はまだだったわけじゃないですか。これで最後だったのかどうかを聞きたかったのです。

(答 学校経理・施設課) 目標としているものとしては、これが最後です。

(質) どちらかという上野高校、旧制中学の耐震が終わったというのもあれだけど、県教委として必要な校舎の耐震改修が終わったということなのじゃないですか。まだあるのですか。

(答 学校経理・施設課) 一定の規模というのがございまして…。

(質) 当初対象としていたところが終わったのじゃないかと聞いているのです。

(答) 対象としているものとしては、これで完了です。

(質) それは発表しないのですか。そういった報告とかはする必要はないのですか。

(答) 別にそんなことは言ってないですけれど。

(質) 小規模なものを含めたら何校残っているのですか。

(答 学校経理・施設課) もともと把握しているのが、対象としているものということで、木造ですから、そもそも県の計画は非木造で 200 平米を超えるものの 100% を目標としていまして、それは平成 25 年度に終わっています。木造については、文科省では、3 階建て以上または床面積が 500 平米以上というものがあるのですけれども、それは対象となる学校が 2 校ありまして、1 校は基準を満たしていまして、これだけ、明治校舎が残っていたということです。

(質) ようわからんで、また聞きます。

(質) そもそも、明治校舎は耐震のことがあって、改修前は特に授業ではそんなに使ってなかったということですよね。

(答) そうです。

(質) 探究学習というのがわからなかったのですけれど、無線 LAN を整備して、G I G A スクールの一人一台のタブレットとかを使って、何かを学ぶという意味の授業なのか、探究という授業があるのか。

(答) 時間割の中に「探究的な学習の時間」という授業のコマがあります。それが週1コマです。それだけじゃないのですけれど、例えば、そこで自分で課題を設定したり、それでフィールドワークに出たり、インターネットで検索したりとか、そういうことも踏まえて、班別であったり個人であったり、自分の課題とそれに対する調べてきたこと、今後への対応を発表するというのも大事な学習の中でもありますので、そういうような活動をするにあたっては、通常の教室でももちろんできるのですけれども、よりこういう場所ですの方が、一定の広さもありますのでいいのかなということで、学校としてもそういうことを中心に、今後の授業で活用していきたいとしています。

(質) 自分で課題を見つけて、勉強したいことを深める時間というのがあるのですね。それに使うということでもいいのですね。

(答) はい。

(質) 改修工事はいつから始まったのですか。

(答) 令和3年11月4日から令和4年12月28日までです。

(質) この建物なのですが、表玄関を含め、他のところが和風ということなのですけど、和洋折衷の建物で、こうした建物が残っているのは貴重と言えるのですか。

(答 社会教育・文化財保護課) はい。

(質) 中学校としてもこういう形は珍しいということですか。

(答 社会教育・文化財保護課) そもそも残っていないということがありますので。

○ みえ探究フォーラム2022を開催しますについて

(質) みえ探究フォーラムは、平成29年からスタートしたということによかったですか。

(答) この資料2の(1)の小学生向け科学体験講座が平成29年度からスタートして、(2)の高校生、中学生による課題研究等の発表は、平成28年度当時はみえ自然科学フォーラムという名称でしたけれど、こちらは平成28年度からですので、平成28年度からスタートしたということになります。

(質) それぞれ何回目ということになりますか。

(答) 小学生向け科学体験講座が今回で4回目です。課題研究等の発表は今年度で7回目です。

(質) 小学生向けの科学体験講座についてなのですが、そもそも7校というのはどういうピックアップなのかということと、小学生に教える高校生というのは、例えば理科部ですとか、部活動に参加しているとか、理科に関心が強いとか、どういう高校生なのかを教えてください。

(答) 今回7校ですけれど、理数系の課題研究に注力している高校ということで、SSHという、スーパーサイエンスハイスクールの指定校と、理数科を設置している高校があって、その7校ということになっています。

(質) 教える高校生はどのような高校生でしょうか。

(答 高校教育課) 高校生は、SSHの学校では科学部というのがあるのですが、科学部に所属している生徒であったり、理数系が好きな生徒、あと小学生にそういうことを教えたいということで、必ずしも部活に入っている子ばかりじゃないのですが、主に部活動とかで活動している生徒です。

(質) SSHの指定校はどこで、理数科があるのはどこかを教えてください。

(答) SSHが桑名、四日市、津、松阪、上野、伊勢です。重なるのですが、理数科設置校が桑名、神戸、松阪、上野です。

○ **カンボジア王国 教育・青少年・スポーツ省が思考力育成教材「Think!Think!」モデル校を視察しますについて**

(質) カンボジアの方が視察されるということについてですけど、私の理解が不足しているので基本的なところを確認したいのですが、「Think!Think!」というのは、日本の企業が作っているWeb教材でいいのですよね。

(答) そうです。

(質) それともう一回説明を聞きたいのですが、なぜカンボジアの方がこの松阪のこの2校にピックアップして来られるのかということについて。

(答) まず、三重県で「Think!Think!」というのを提供いただいて活用しているというので、今年度は41校の小学校でやっているのですが、この「Think!Think!」を開発運営しているワンダーファイの方がJICAの補助金を得て、このカンボジアの方に「Think!Think!」を活用したカンボジアで授業の実施に支援されていることがありまして、三重県と「Think!Think!」を開発運営しているワンダーファイさんが包括協定している中で、その中に三重県は無償提供を受けているのですが、他国でそういった実際に実施状況とか授業の状況の調査とかがあった場合には、そういうことに対応もしていましようということがございますので、今回そういう枠組の中でカンボジアの方からワンダーファイさんを通じて視察の要請がございましたので、三重県の中ではこの2校を見ていただくということになりました。

(質) 特にこの2校は何か、活用が頻繁に行われているとか何かありますか。

(答 学力向上推進PT) この2校につきましては、授業や朝の学習の時間などでこの「Think!Think!」を活用してまして、子どもたちの意欲に関しても高まっているということ、特に本県での算数の課題であります、割合とか図形に関しての成果が出ているというようなことで、先進的に取り組まれているということで、この2校を視察していただくということに決めました。

(質) 花まるラボというのは、これ、花まる学習会のことですよね、教材を出している。それを平成29年から包括協定を結んで県内の小中学校…。

(答) 小学校ですね。

(質) 小学校で活用するよう無償提供を。

- (答) どちらかというとも小学校低学年向けのW e b教材です。
- (質) 1点確認させてください。カンボジアの方たちはJ I C Aの事業でワンダーファイさんから教育現場で「Think!Think!」という教材を使わせてもらっていて、それでカンボジアの方たちからすると、日本でこの教材をどういうふうに使って成果をあげているのか現場を見てみたいという、そういうことだと思ふのですけど。
- (答) そうです。実際の授業で使っている様子とそれから、その時の意見交換の中で効果とか使い方の工夫とかをやり取りさせていただく。
- (質) あちらも同じものを使っている、それで日本ではどうも成果が上がっているらしいということを見せてほしいというそういうことなのですか。わかりました。ありがとうございます。
- (質) 連携包括協定というのは、なんでこんなのを結んでいるのかということと、三重県以外の他の都道府県でワンダーファイさんと同じような連携協定を結んでいるのかどうか。
- (答) まず29年9月に協定締結時は株式会社花まるラボさんと包括協定を締結したのですが、その前年の28年度にI Tを活かしたデジタル教材、W e b教材で学ぶ意欲とか、算数における思考力を育むということをめざして、そういう教材を開発されたというご案内があつて、その教材の内容も見て、三重県が取り組んでいる学ぶ意欲とか数学的な思考力の育成に効果があるであろうと我々が思いまして、こういう協定を平成29年の9月に締結させていただきました。全国的にはどうですか。
- (答 学力向上推進P T) 三重県だけというふう聞いています。
- (質) 今も三重県だけ。それで、他の県ではなく連携協定を結んでいる三重県の今回2校に視察するという。あと、カンボジアが自分の国のために視察に来られて、ワンダーファイさんは別に三重県の企業ではないと思うのですけど、三重県にとってこの今回の視察が何かこうメリットがあるのかとか、何かいいことがあるのかとか、何か期待することはあるのでしょうか。
- (答) 三重県としては平成29年から活用させていただいて、小学校で150校ぐらいのうち、40校ぐらいに毎年度希望を聞きながらさせていただいているのですけど、カンボジアにおいても、学力を高めるとか、そういう意欲を向上するというのが、課題ということでこの教材で活用しながら授業をやっていると聞きましたので、やっぱりこの国を違えても同じ世代の子どもたちをどんなふうなよりよい活用とか、そういうことを私どもも気づかせてもらう部分もあるのかなと思いますので、今回、訪問いただいて我々の授業を見ていただいて、そのあと松阪市教委も含めて意見交換をさせていただくんですけど、そこは貴重な機会だと思つてますので、今申し上げたようなカンボジアでの課題とか、我々授業を見ていただいて気づかれることもあると思いますので、そのあたりをお聞きしてみたいと思つています。

その他の項目に関する質疑

○ 新型コロナウイルスの「第8波」への対応について

(質) コロナの第8波、感染の勢いが増していますが、学校生活において何か特段、県教委として注意を呼び掛けているような点があるのかというのが1つと、修学旅行ですとか、今、さまざま学校行事が春にかけてもあるかと思うのですが、そのことを念頭に何か対策を取られるのか教えてください。

(答) まず感染の拡大に関して、これまでもう3年近く経つわけですが、学校において基本的な感染対策ということで、手指消毒であったり、それから、マスクの着用も必要な時にマスクを着用することと、体調の管理、これは保護者の方にも随分ご尽力いただいていますけど、風邪症状があった時に学校へ登校を控えていただくということなどを、それぞれの学校で徹底していただいているところです。それから修学旅行については、令和2年度のときに時期をずらしたり、あるいは、目的地を変えたりですとか、小中学校は県内が多かったですけど、という取組をさせていただいて、その後、令和3年度も2年目ということで、2年度の時の取組の経験を生かして、時期とか目的地とかも検討していただきました。あるいは、もし参加した時に発熱なりが起こった場合にはどう対応するのかというのも、我々も市町とか県立学校の取組を聞かせていただいております。今年度も、そういった経験を活かして対応しております。ですので、県立高校においては、かなりの部分が予定通り実施させていただいているという、修学旅行についてはほぼ…。

(答：高校教育課) 予定通り実施しております、延期をしたところもありますが、延期分は既に終えています。

(質) 改めて伺いたいのですが、今、感染が急激にまた増えていますけど、3学期であったりとか、2学期の再開があったりする中で、県教委として何かこのタイミングで新たな呼びかけをされているようなことがあれば教えてください。

(答) そうですね、我々としてはこの時期に何かを改めて文書を出したということはありませんけれども、県立校長会であるとか市町教育長会とかということも今までありまして、これからもありますので、そこで今申し上げたようなことを改めてお願いしていくということで、今年度、例えば入試とかいうことも中学生、高校生とかはありますので、その部分についても留意して取り組んでいただくようなことは機会を捉えてこれからもお願いしていきたいと思っています。

○ 令和4年度三重県一般会計補正予算（第9号）（教育委員会関係）について

(質) 補正予算はこの中に入っていないくて、また別の、まとめて財政課の中に入っているか。

(答) そうです。

以上、11時51分終了